



(← ↓ HP)

「質を高める」

校長 菅谷 和孝

<https://www.town.saitama-miyoshi.ed.jp/fujitoppage.html>

昭和100年が終わり、次の100年に向けた時代が始まりました。本校も心新たに最後の学期(3学期)がスタートしました。例年、吐く息が白い体育館に先生方が早朝より大型ストーブを焚いて温めてくれていたが、今年からはエアコンが設置され、快適な環境で3学期をスタートすることができました。生徒たちも登校時に元気よく挨拶してくれ、冬休みから良い切り替えができていたようにも感じました。

今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。十干の「丙(ひのえ)」は、太陽や燃え盛る火を表し、物事が形を成し、明るく輝く状態を意味します。そして十二支の「午(うま)」は、力強く大地を駆け抜け、高みへと跳躍する馬の姿です。この二つが重なる2026年は、例年にも増して「溢れる活力」と「目覚ましい進歩」が期待される年と言えるでしょう。

本校では「藤中 Action(自ら考え動くこと)」と「藤中 Pride(誇りを持って振る舞うこと)」を合言葉に歩んできました。これらは、藤中の土台となる大切な文化です。しかし、新しい年を迎えた今、私たちは「ただやる」段階から、その一歩先にある「質の追求」へとフェーズを移してほしいと考えます。

この年末年始、多くのスポーツドラマが日本中を沸かせました。箱根駅伝、ニューイヤー駅伝、そして高校サッカーや高校バレー。画面越しに伝わってきたのは、単なる筋力や技術の差ではなく、「意識の質の差」であったように感じます。

例えば、箱根駅伝でタスキを繋ぐ選手たちを見ると、彼らにとって走るという「Action」は同じです。しかし、ここに出場している選手たちは一歩の踏み込み、腕の振り、そして仲間を信じる心の持ちようまで、その「質」が極限まで磨き上げられています。「走らされている」のではなく、コンマ一秒を削り出すために「自ら考え、研ぎ澄まされている」状態です。これこそが「藤中 Action」の目指すべき極致だと思います。



また、高校サッカーや高校バレーで、敗れてなお毅然と相手を称える選手たちの姿には、深い「Pride」を感じました。勝敗を超えたところにある、自分たちの積み上げてきた努力に対する自負。それは、普段の練習の「質」が、本番の立ち振る舞いに表れているのだと思います。

「質を高める」と聞くと、何か特別なことをしなければならないと感じるかもしれませんが、しかし、実はその答えは日常の中にこそ隠れていると思います。

- *あいさつの質: 相手の目を見て心を交わす一言。それは単なる習慣ではなく、相手への敬意を込めた藤中 Pride の表現
- *学習の質: 机に座っている時間ではなく、「今日は何ができるようになったか」という納得感を求める姿勢。それが「知の Action」

目標を達成するために必要なのは、量だけではなく、「どんな思いで、その一分一秒を過ごすか」。その意識の微差が、一年後には大きな実力の差となって現れます。

1年生:スキー宿泊学習での「共創の質」

初めての宿泊学習。雪山という非日常の中で問われるのは、仲間と協力する「質の高いコミュニケーション」です。協力とは、単に助け合うことではなく、共通の目的・目標に向かって、一人ひとりが最高の自分を出し切ることです。自分にできる最善の Action を、仲間のために発揮してほしいと思います。

2年生:修学旅行での「感性の質」

中学校生活の大きな思い出となる修学旅行。ただ観光地を巡るのではなく、その土地の歴史や文化にどれだけ深く触れられるか、自分の感性を研ぎ澄ませほしいです。「本物を見るのではない。本物を感じる心が、教養の質を決める。」

来たるべき最高学年に向けて、視野を広げる豊かな Action を期待しています。

3年生:進路実現に向けた「意志の質」

いよいよ勝負の時です。不安に押しつぶされそうな時こそ、自分を信じる「Pride」を思い出してください。受検(験)はゴールではなく、新しい世界へ飛び出すための助走です。プロ野球界の至宝、イチロー氏はかつてこう言いました。「特別なことをするために特別なことをするのはではない。特別なことをするために、当たり前のことを徹底して行う。」日々の基礎固め、一問へのこだわり。その「当たり前の質」を高め抜いた先に、確実な合格と飛躍が待っています。健闘を祈っております

保護者の皆様。お子様が「質」を追い求める過程では、時に壁にぶつかり、葛藤することもあります。そのような時は、どうぞ結果だけでなく、その背後にある「意識の変化」を認め、励ましてあげてください。2026年、藤久保中学校は、生徒一人ひとりが「自分の人生の質の向上」を実感できる場所でありたいと願っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。